

ホワイトニング説明書および同意書

ホワイトニングの種類

ホワイトニングには以下の2種類があります。

1.ホームホワイトニング

患者様ご自身が、歯科医院で製作されたマウスピースにホワイトニング剤を流し込み、歯に装着して漂白する方法です。

2.オフィスホワイトニング

歯科医院にて術者が歯の表面にホワイトニング剤を塗布して漂白する方法です。

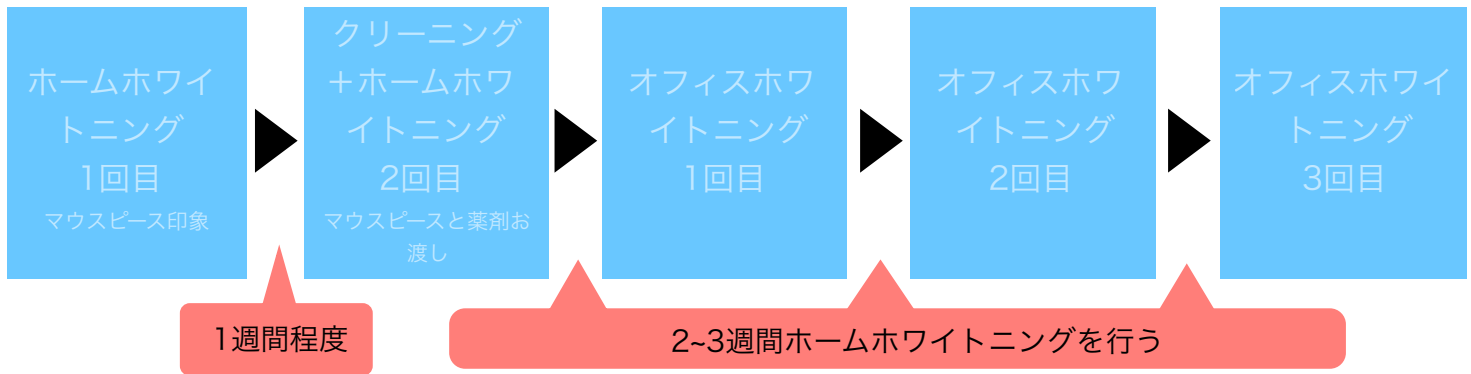
それぞれの長所と短所は以下の通りです。

	ホームホワイトニング	オフィスホワイトニング
長所	<ul style="list-style-type: none">・後戻りが遅い・透明感のある仕上がりとなる	<ul style="list-style-type: none">・一度の施術で効果を実感しやすい・臼歯部の治療中でも実践できることがある・歯科医療従事者による施術なので安心
短所	<ul style="list-style-type: none">・効果が現れるのに時間がかかる・継続するのに根気が必要・マウスピース装着の違和感	<ul style="list-style-type: none">・後戻りが早い・白くできるのは前歯のみ

また、ホームホワイトニングとオフィスホワイトニングを併用する方法をデュアルホワイトニングと呼びます。デュアルホワイトニングは短期間でより理想的な白さを目指すことができます。

治療の進め方

ホワイトニングの治療回数は種類と歯の状態によって個人差が生じます。当院で行うことの多いデュアルホワイトニングの一般的な進め方を以下に記します。



*ホームホワイトニングは、十分な効果が現れるのに4週間程度かかります。

*オフィスホワイトニングの回数は3~6回で白さの限界となることが多いです。

ホワイトニング説明書および同意書

メンテナンス

色が定着したらメンテナンス期間に入ります。個人差がありますが、白さの維持には以下のようなメンテナンスを行う必要があります。

- ・ 3ヶ月に1回のオフィスホワイトニング
- ・ 3ヶ月に1回のクリーニング
- ・ 必要に応じてホームホワイトニング（月に数回程度）

事前にご理解いただきたいこと

- ・ 白くなる度合いや期間は現在の歯の色や歯の質、生活習慣によって個人差があります。
- ・ 1度で白くなるホワイトニングは歯への負担が大きく知覚過敏が生じやすいため、複数回繰り返す必要があります。そのため、1度だけで白さを実感することは出来ません。
- ・ 知覚過敏、歯肉の熱感、粘膜の潰瘍、歯の痛み等を生じる可能性があります。これらは一時的なものでほとんどの場合数日で消失します。
- ・ 後戻りがあるため（再石灰化のため）、ホワイトニング後は白さが定着するまでメンテナンスが必要となります。
- ・ 術後30分は飲食や喫煙を控えていただきます。基本的には色の濃い食事や喫煙をなるべく控えると白さを保ちやすいです。

禁忌症（ホワイトニングが出来ない方）

全身的要因

- ・ 無カタラーゼ症
- ・ 妊娠中・授乳中
- ・ 光過敏症、光線アレルギー

口腔内的要因

- ・ エナメル質・象牙質形成不全
- ・ 乳歯・生えて間もない永久歯
- ・ 虫歯（部位と程度によります）
- ・ 歯根露出を認める歯
- ・ 知覚過敏歯
- ・ 歯の亀裂・過度な擦り減り

以上のことがらを理解・同意し、ホワイトニング処置を希望いたします。

_____年 月 日

ご署名: _____